

海難1890 (2015)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本／トルコ

色彩 Color

時間 132分

初公開日 2015/12/05

公開情報 東映

【キャッチコピー】

なぜあの時、
トルコは日本を
助けてくれたのか。

【解説】

2015年に日本トルコ友好125周年を迎えたのを記念して製作された日本・トルコ合作ドラマ。1890年の“エルトゥールル号海難事故”と1985年の“テヘラン邦人救出劇”という2つの史実を通して両国の絆を改めて見つめる。出演は「臨場 劇場版」の内野聖陽と「許されざる者」の忽那汐里。監督は「火天の城」「利休にたずねよ」の田中光敏。

1890年、明治天皇への謁見を終え帰途に就いたオスマン帝国の親善訪日使節団を乗せた軍艦“エルトゥールル号”が、和歌山県桎野崎沖で台風に遭遇し、難破してしまう。600名を超える乗組員たちが海に投げ出されるが、地元住民の懸命の救助活動と、医師・田村を中心とした医療関係者たちの尽力で奇跡的に69名の命が救われる。和歌山の人々のこの行動はトルコ国民に感銘を与え、後世まで語り継がれることで日本に対する好意的な感情の醸成に大きく貢献していく。それから90年以上も経た1985年、イランのテヘラン。イラン・イラク戦争の停戦合意が破棄され、イラクのサダム・フセインは、イラン上空の飛行機を無差に攻撃すると宣言する。この時、帰国の手段を断たれた200人以上のイラン在留邦人の窮地を救ったのが、90年以上も前の出来事に感謝の念を持ち続けていたトルコの人々だった。

【クレジット】

監督	田中光敏
製作	須藤泰司
	木下直哉
	間宮登良松
	中村理一郎
	薮下維也
	近藤哲
	木本敬巳
	吉村和文
	西本博嗣
	松田陽三
	沖中進
	広田勝己
	岸本一郎
	本間雅之
	板倉均

企画	田中光敏		
エグゼクティブプロデューサー	村松秀信		
プロデューサー	天野和人		
	大原詔久		
	大谷亮介		
	小沢禎二		
	富永理生子		
脚本	小松江里子		
脚本協力	井上隆		
撮影監督	永田鉄男		
撮影	会田正裕		
特撮監督	佛田洋		
美術	花谷秀文		
編集	川島章正		
音響効果	柴崎憲治		
音楽	大島ミチル		
音楽プロデューサー	津島玄一		
録音	松陰信彦		
整音	松陰信彦		
VFXスーパーバイザー	野口光一		
製作統括	木次谷良助		
照明	安藤清人		
監督補	井上隆		
出演	内野聖陽		田村元貞
	ケナン・エジェ	Kenan Ece	ムスタファ／ムラト
	忽那汐里	Shioli Kutsuna	ハル／春海
	アリジャン・ユジェソイ	Alican Yücesoy	ベキール
	小澤征悦	Yukiyoshi Ozawa	藤本源太郎
	宅間孝行		木村
	大東駿介		信太郎
	渡部豪太		直一
	徳井優		平次
	小林綾子		トメ
	螢雪次朗		竹下
	かたせ梨乃		サト
	川野直輝		万吉
	三輪ひとみ		カツ
	斉藤とも子		ノブ
	池谷のぶえ		キヨ
	みのすけ		武夫
	辻本祐樹		矢野
	金子昇		山元
	高田敏江		宮本
	上田耕一		福島
	夏川結衣		お雪

永島敏行
竹中直人
笹野高史

野村
工藤
佐藤